

<令和4年度秋季大会水産学若手の会企画>

水産学ってどんな分野があるの？  
～水産学若手の会を舞台に～

日時・場所：令和4年9月7日（水）13:00-17:00

企画責任者：小祝敬一郎（海洋大）・小川健（専修大）・松井英明（水産機構水大校）・相馬智史（水産機構資源研）・加藤豪司（海洋大）

13:00-13:10 開会の挨拶・企画の趣旨説明 加藤豪司（海洋大）

座長：小川健（専修大）

13:10-13:40 水産生物へのシングルセル解析の適用と課題 小祝敬一郎（海洋大・ACT-X研究者）

13:40-14:10 フグのTTX供給源から考えるフグ毒研究 米澤遼（東大・DC2）

14:10-14:40 「餌料生物」という分野で研究を続ける中で私が考えたこと  
松井英明（水産機構水大校）

14:40-15:00 休憩

座長：小祝敬一郎（海洋大）

15:00-15:30 オミクス解析を水産に活かす 相馬智史（水産機構資源研）

15:30-16:00 貿易理論の人間が水産経済に手を出すまで 小川健（専修大）

16:00-16:30 GAS細胞を起点とする魚類独自の鰓粘膜免疫機構 加藤豪司（海洋大・創発研究者）

座長：小祝敬一郎（海洋大）

16:30-16:50 総合討論

16:50-17:00 閉会の挨拶 小川健（専修大）

企画の趣旨

一口に水産学といえども、その分野は多岐にわたります。本シンポジウムではこれからの水産学の一翼を担う水産学若手の会メンバーが、どんな研究をしているのか?どんなことに興味を持っているのか?どんなキャリアを経てきたのか?どんなことに困っているのか?などを紹介します。本シンポジウムへのご参加が、水産学に関する参加者の皆様の視野を広げるきっかけになれば幸いです。将来のキャリア選択を考えている学生のみならず、多くの方のご参加をお待ちしております。